

学 位 論 文 の 要 旨

三 重 大 学

所 属	三重大学大学院医学系研究科 甲 生命医科学専攻 臨床医学系講座 呼吸器内科学分野	氏 名	鶴賀 龍樹 つるが たつき
<p>主論文の題名</p> <p>Role of microbiota-derived corisin in coagulation activation during SARS-CoV-2 infection</p> <p>主論文の要旨</p> <p>【背景】</p> <p>COVID-19 患者において凝固異常はその罹患率と死亡率に影響を及ぼす。COVID-19 患者における凝固能亢進は、深部静脈血栓症および血栓塞栓性合併症を引き起こし、肺、脳、心臓、脾臓、腎臓などの複数の臓器に影響を及ぼす可能性がある。これまでの研究で、マイクロバイオームの異常が COVID-19 の臨床経過と重症度に影響を及ぼすことが示されているがそのメカニズムは不明である。</p> <p>【目的】</p> <p>本研究では、COVID-19 患者におけるマイクロバイオーム由来コリシンと血液凝固マーカーとの相関を検討した。</p> <p>【方法】</p> <p>47 名の COVID-19 患者を登録し、酵素免疫測定法により血清コリシンとアンチトロンビン複合体、組織因子、D ダイマーなどの血液凝固マーカーを測定した。</p> <p>【結果】</p> <p>コリシン、トロンビンアンチトロンビン複合体、D-ダイマー、組織因子の濃度は、COVID-19 患者では健常対照群と比較して有意に高かった。コリシン濃度は、凝固マーカーと有意かつ正の相関を示した。</p> <p>【結論】</p> <p>これらの結果は、マイクロバイオーム由来のコリシンが COVID-19 関連凝固異常の病態形成に関与していることを示唆している。</p>			